

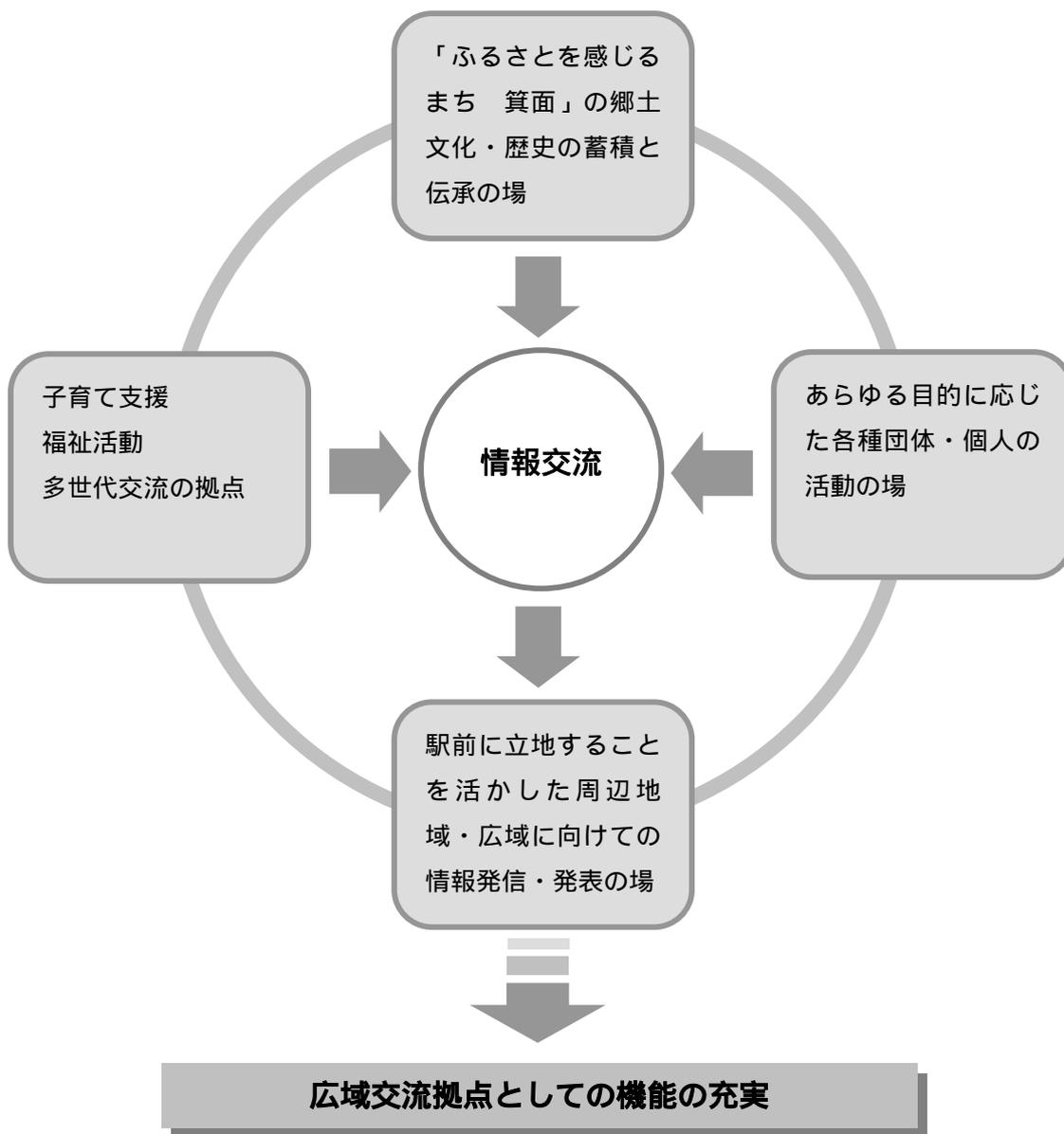
## 6.基本方針

### (1) 再配置計画の要件

前章までの上位計画における方向性、現状とその問題点、改善課題をふまえ、サンプラザ1号館及びその周辺の整備を実施していく上での基本的な要件を以下に定める。

- ・ 箕面市中心市街地活性化基本計画、公共施設配置構想 を基本とする。
- ・ みのおサンプラザ1号館地下1階の取得と3~8階も含む改修を実施し、老朽化した市役所第2別館、郷土資料館の敷地の売却を含めた、一体的な公共施設機能の再編整備を図ることで、市民の利便性向上と箕面駅前地区の活性化に資する。
- ・ みのおサンプラザ1号館地下1階の取得と上層階も含む改修にかかる経費は、第2別館、郷土資料館の売却収入の範囲内とし、改修後の共益費や施設にかかるランニングコストの増については、第2別館、郷土資料館跡地の民間利用による増収（固定資産税など）の範囲内とする。
- ・ 地下1階は、大面積を活用し、市民ギャラリーや多目的室の機能を集約することによって、活動の規模に応じた空間の一体的使用など、施設利用の効率化が可能な構成を組む。3~8階についてはコンセプト・各階の機能イメージに基づいた新たな編成を組みつつ、今回の改修に伴い設備備品等の全般的な向上を図る。
- ・ 今回の公共機能再配置に伴い、あらゆる世代がより安全・快適に利用できる施設となることをめざし、バリアフリー化を図る。
- ・ 公共機能としては、現行のみのおサンプラザ内の機能と郷土資料館、第2別館にある機能の集約・再編を基本としつつ、駅前立地という好条件を活かし、民間活力の導入も視野に入れる。
- ・ 市街地の活性化が喫緊の課題であることや、共益費の支出増も踏まえて、迅速に遂行する。

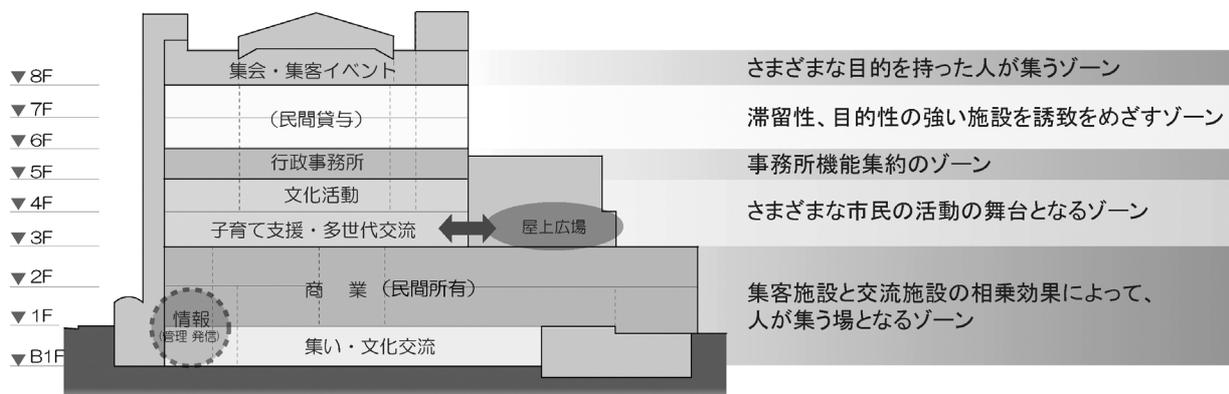
(2) 箕面地区におけるみのおサンプラザの公共施設の意義役割



(3) 再配置計画のコンセプト

多世代が集い、多目的に使える 駅前の集客と交流の拠点

## (4) 再配置におけるみのおサンプラザ1号館の施設機能イメージ



## 1) 地下1階

大面積が確保できることを利用し、市民ギャラリー・多目的室を移設する。同フロア内で一体的利用が可能な配置構成を行って、利便性を向上する。駅前という観点から、箕面のまちの歴史・文化を発信する郷土資料館をはじめ、自然やまちの姿などを紹介する「地域の顔」となる施設を設置し、広域へのPRと文化交流の場の創造をめざす。

## 2) 1階

施設の利用やイベント開催等の情報発信機能を整備して、公共施設利用者の利便性を高めると同時に、商業施設の情報スペースを設け、来客誘導を図る。

## 3) 2階

商業階の活性化策の一つとして、空店舗スペースを小規模のギャラリーやSOHOオフィスとして活用する。

## 4) 3階

子育て支援、子ども活動、高齢者福祉等の地域活動の拠点を形成し、多世代交流を促進する。屋外の広場空間と屋内の施設機能との一体的な有効活用を行う。

## 5) 4階

現状の7階の貸床機能（会議室・和室等）を移設する。

## 6) 5階

郷土資料館の事務機能を含め、行政事務所機能を整理、集約する。

## 7) 6階・7階

駅前立地の好条件を活かし、滞留性、目的性の強い施設の誘致等、民間活力の導入を検討する。

## 8) 8階

規模の大きな会合に対応できる貸床機能の提供に加え、公演・文化活動発表等の場としての機能を向上する。